

各位

会社名 株式会社WOWOW  
代表者名 代表取締役社長 和崎 信哉  
(コード番号 4839 東証第一部)

## WOWOW FILMS最新作『四十九日のレシピ』 2013年公開決定！

劇場用映画レーベル「WOWOW FILMS」の最新作が『四十九日のレシピ』に決定いたしました。  
2013年に全国公開する予定です。

この作品は、ポプラ社小説大賞特別賞を受賞して「風待ちのひと」でデビューした女性作家・伊吹有喜の同名小説を、『ふがいない僕は空を見た』がトロント国際映画祭に正式出品されるなど世界的にも注目を集めている気鋭監督タナダユキが映画化するものです。主演には、『八日目の蝉』で第35回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞など映画各賞に輝いた永作博美を迎え、その他の主要キャストとして石橋蓮司、岡田将生、二階堂ふみ、原田泰造など豪華俳優陣が揃いました。

亡くなった母の「幸せに生きるためのレシピ」を通じて、残された家族が心の傷を抱えながらも自身の人生について考え、再生に向かってそれぞれが前進していく物語を温かく描く感動作となります。

「WOWOW FILMS」は2007年に立ち上げた劇場用映画レーベルで、徹底して上質にこだわったエンターテインメント性の高い映画を企画・製作し、世界に送り出していきます。

WOWOWは、コーポレートメッセージ「見るほどに、新しい出会い。」のコンセプトの下、今後もオリジナルコンテンツの充実を図り、上質なエンターテインメントをお届けしていきます。

### WOWOW FILMS『四十九日のレシピ』概要

出演 : 永作博美、石橋蓮司、岡田将生、二階堂ふみ、原田泰造 ほか  
監督 : タナダユキ (『百万円と苦虫女』『ふがいない僕は空を見た』)  
脚本 : 黒沢久子 (『キャタピラー』)  
原作 : 伊吹有喜「四十九日のレシピ」(ポプラ社刊)  
製作幹事: WOWOW、ポニーキャニオン  
配給 : ギャガ

#### <ストーリー>

ある日熱田家の母、乙美(おとみ)が突然亡くなった。二週間後、生きる気力を失っていた夫、熱田良平のもとに、派手な格好のイマドキ女子・イモが訪れる。イモは乙美から頼まれていた四十九日までの細々とした家事などを引き受けに来たと話し、良平に乙美が残した「レシピ」の存在を伝える。そこへ結婚し、東京で生活を送っていた娘の百合子が疲れ果てた様子で帰ってきた。結婚後不妊治療を続けるもうまくいかず、夫に不倫され結婚生活は破たん。離婚届を残し実家に戻ってきたのだった。良平と百合子、それぞれ心に傷を負った親子が乙美の人生を振り返って、最愛の「妻」「母」を送り出し、そして同時に自ら立ち直っていくまでの四十九日間をあたたく描く感動作。

【お問い合わせ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080  
(IR関係) IR経理部 TEL03(4330)8089

## ■ WOWOW FILMS 近作

『白夜行』(2011年1月29日公開)

監督：深川栄洋 脚本：深川栄洋、入江信吾、山本あかり

原作：東野圭吾「白夜行」(集英社 刊)

出演：堀北真希 高良健吾 船越英一郎

『毎日かあさん』(2011年2月5日公開)

第14回上海国際映画祭 アジア新人賞最優秀作品賞受賞

監督：小林聖太郎 脚本：真辺克彦

原作：西原理恵子「毎日かあさん」(毎日新聞連載・毎日新聞社 刊)

出演：小泉今日子 永瀬正敏

『マイ・バック・ページ』(2011年5月28日公開)

監督：山下敦弘 脚本：向井康介

原作：川本三郎「マイ・バック・ページ」(平凡社 刊)

出演：妻夫木聡 松山ケンイチ

『ヘルタースケルター』(2012年7月14日公開)

監督：蜷川実花 脚本：金子ありさ

原作：岡崎京子「ヘルタースケルター」(祥伝社フィールコミックス)

出演：沢尻エリカ

大森南朋 寺島しのぶ / 綾野剛 水原希子 新井浩文

鈴木杏(友情出演) / 寺島進 / 哀川翔 / 窪塚洋介(友情出演) / 原田美枝子

桃井かおり

## ■ WOWOW FILMS 今後の公開作品

『すーちゃん まいちゃん さわ子さん』 (2013年3月2日公開予定)

出演：柴咲コウ 真木よう子 寺島しのぶ 染谷将太 井浦新

監督：御法川修 脚本：田中幸子

原作：益田ミリ「すーちゃん」シリーズ(幻冬舎)

製作幹事：WOWOW / 制作プロダクション：C&Iエンタテインメント

配給：スールキートス

<ストーリー>

すーちゃんこと森本好子(34歳)はカフェ勤務歴十数年。まいちゃんこと岡村まい子(34歳)はOA機器メーカー勤務。さわ子さんこと林さわ子(39歳)は、母と二人で祖母の介護をしながら、WEBデザイナーとして働いていた。かつてのバイト仲間3人。それから10数年、今でも友情は続いている。

ときに3人でお出かけしたり、鍋をつついたり、そんな温かい時間の中に垣間見える不安の影。素朴なつづやき。誰にでもある日常の、かけがえのないドラマが少しずつ動き始める。